第１９７回 学長定例記者会見

日時：令和８年 11 月 25 日（水）13：30 ～ 14：00
場所：広島大学　霞キャンパス　広仁会館 中会議室（広島市南区霞 1-2-3）
※ テレビ会議システムによる配信は行わない
※ YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

１．学部留学生の授業料改定についての方針

２．第 13 回広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」授賞式と記念講演会の開催（12/23 開催）
～国際刑事裁判所（ICC）所長の赤根智子氏を顕彰～

３．国立６大学が連携し、医学生の海外臨床実習の機会を拡大
―海外の実習先を共有する新たな仕組みを構築、2027 年度から開始 ―

【お知らせ事項】

１．「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」の取り組みに関する報告

２．「2026 年ノーベル賞解説講演会」を開催します（12/6 開催）

３．人類学の２つの視点から「人間と集団」を考える
～広島大学附属中・高等学校と日本学術会議がサイエンス・カフェを開催～
（12/14 開催）

■次回の学長定例記者会見（予定）
日時： 令和８年 12 月 21 日（月）
場所： 広島大学 東広島キャンパス

広島大学

第 197 回 学長定例記者会見　発表事項 1

令和８年 11 月 25 日

学部留学生の授業料改定についての方針

文部科学省の「国際競争力を牽引する学部等」認定制度（※１）の採択を受け、本学では国際化のさらなる推進に向け、2026 年度から 2041 年度までの間に学部留学生数を現状の 10.3 倍規模へ拡充する計画を進めています。

また、「国際競争力を牽引する学部等」の認定要件として、外国人留学生の受入れ拡大に伴う教育・支援体制の充実に必要な経費について、適切な授業料の設定が文部科学省から求められています。

これに伴う留学生支援に追加的に必要な経費を試算した結果、今後 14 年間（※２）に総額約 7 億 6,356 万円が必要となり、現行授業料の 20%に相当する財源が必要であることが分かりました。

しかしながら、昨今の物価高、光熱水料の高騰などもあり、政府内で授業料標準額の見直しも検討されていることから、留学生の経済的負担を鑑み、大学が 5%分を負担し、115%にする方針としました。

対象は 2028 年 4 月以降に入学する学士課程の外国人留学生に限定され、日本人学生、大学院学生、既に在学中の留学生の授業料は変更されません。

これまでに現在、在学している学部生（留学生）には方針を説明して意見聴収しているところですが、方針が決まれば全学生を対象とした説明会を実施する予定です。

※１)【国際競争力けん引学部等認定制度の概要　※文部科学省 HP より抜粋】

- グローバルに獲得競争が激化している優秀な外国人留学生を各大学等がより積極的に受入れられるよう、設置基準等の現在の関係制度との整合に留意しつつ、外国人留学生受入れを含めた国際化のための体制が十分に整備されている大学等の学部等を「国際競争力けん引学部等」として認定し、認定学部等について、収容定員の超過を一定程度認める特例制度
- 体制が十分に整備されていること等を条件に、優秀な外国人留学生の受入れ割合の拡大を計画 する学部等を認定(短大・高専の学科も対象。大学院及び定員抑制分野（医師・歯科医師・ 薬剤師・獣医師・船舶職員の養成に係るもの）は対象外。)
- 認定学部等における収容定員充足率の上限を、学部等の規模に応じて、それぞれ５%引き上げ

※２）2028 年度～2041 年度の 14 年間

【お問い合わせ先】

国際室
留学交流グループ　　梅下
TEL:082-424-2028

グローバル化の推進と留学生支援強化のための学部留学生の授業料改定の方針（広島大学）

1 留学生数の増加と必要経費の見通し

国際競争力強化をけん引する学部の採択に伴い、本学では2041年までに**学部留学生数を現在の10.3倍まで増加**させることが求められている。このため、**教育・生活・就職支援を拡充する必要**があり、支援にかかる追加必要経費総額及び1人あたりの支援単価が大きく増加する見込み。

2 留学生支援強化策

学習環境の整備

DXシステムの強化



- 出願～卒業までの手続きの一元化
- オンライン申請
- セキュリティ強化（2028年度～）

図書館充実 英語ウェブサイトの充実



- 英語学術資料の充実
- HPで留学生支援情報の充実
- 留学生支援の多言語化

グローバル化の推進

日本語教育



- 卒業後の日本定着を見据えた日本語教育
- 渡日後／ビジネス日本語教育

就職支援



- キャリア相談支援の強化
- 企業との連携した就職支援イベント
- インターンシップ情報提供

生活・経済支援の充実

生活・学習支援



- 渡日後の生活・学習サポートの対応
- 支援スタッフの増員

学内アルバイトの斡旋



- 学内窓口業務斡旋
- 留学生支援業務斡旋

経済的な理由で進学の機会が損なわれることないように、広島大学外国人留学生支援基金を財源とした留学生への**経済的支援を強化**。

3 学部留学生授業料改定

現行	年間授業料 535,800円	115%	改定後
		5%	年間授業料 616,170円
			大学負担

今回は2028年4月入学の学部留学生から適用

授業料改定による増収分は、留学生の学習環境の整備、キャンパスのグローバル化の推進、生活・経済支援の強化に充当。

授業料改定（学部留学生）の状況

標準額：　535,800 円　　2026/11/17 現在

大学名（導入順）	導入年度	値上幅	値上額	留学生授業料
岡山大学	2027年度	250%	+803,700	1,339,500
東北大学	2027年度	170%	+364,200	900,000
東京藝術大学	2019年度	120%	+107,160	642,960
東京科学大学（旧 東京医科歯科大学） 千葉大学 一橋大学	2020年度			
東京農工大学	2024年度			
東京大学	2025年度			
山口大学 埼玉大学 名古屋工業大学 電気通信大学	2026年度			
香川大学 お茶の水女子大学	2027年度			
東京科学大学（旧 東京工業大学）	2019年度	119%	+99,600	635,400
広島大学	**2028年度**	**115%**	**+80,370**	**616,170**
筑波大学	2027年度	114%	+73,000	608,800
熊本大学	2027年度	110%	+59,000	594,800

広島大学

第 197 回 学長定例記者会見　発表事項 2

令和８年 11 月 25 日

第 13 回広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」授賞式と記念講演会の開催（12/23 開催）～国際刑事裁判所（ICC）所長の赤根 智子氏を顕彰～

広島大学は、ワークライフバランスのための環境整備や女性研究者の研究力強化、より革新的・学際的な活動をサポートすることなどを目的として、女性研究者の支援に積極的に取り組んでまいりました。

平成 25（2013）年には、本取り組みの一環として、女性自ら先導し、あるいは女性の活躍の場を広げることによって、社会全体の活力向上に貢献した個人・団体を顕彰するため、広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」を創設しました。

賞名の由来は、フェニックスと並んで広島大学のシンボル的な存在であるメタセコイアの樹木のように、女性が個性と能力を存分に発揮し、世界中で力強く活躍することに願いを込めたものです。

第 13 回の受賞者については、日本の検察官として卓越したキャリアを築かれ、国際司法の分野においても多大な貢献を果たしてこられたことなどが評価された、国際刑事裁判所（ICC）所長の赤根 智子（あかね ともこ）氏に授与することを、令和 8（2026）年 5 月に決定しました。

この度、受賞者である赤根智子氏をお招きし、第 13 回授賞式及び記念講演会を以下のとおり開催いたしますので、奮ってご参加ください。

なお、赤根氏の記者会見や個別の取材等は予定しておりませんので、ご了承ください。

また、赤根氏の講演内容の公表は控えていただきますようお願いいたします。

【受賞者】

国際刑事裁判所（ICC）所長　赤根智子氏　※オンラインでのご登壇となります。

【日時】

令和 8 年 12 月 23 日（水）15 時 30 分～16 時 30 分

授　賞　式：15 時 30 分～15 時 40 分

記念講演会：15 時 40 分～16 時 30 分

【開催方法】

オンラインによるライブ配信

※当日取材をご希望の報道機関の方は、事前に下記のお問い合わせ先へご連絡ください。会場は、広島大学東広島キャンパス法人本部棟 5F1 会議室となります。

【申込方法】
以下 URL より必要事項を入力の上、お申込みください。
https://forms.cloud.microsoft/r/cCisJh2vSC

【申込締切】
令和８（2026）年 12 月 16 日（水）

【定員】
500 人

【参考（選考スケジュール）】
令和７（2025）年９月　広島大学ホームページ等を通じて募集を開始。
令和８（2026）年２月　女性研究活動委員会において、学長に推薦する候補者３人を決定。
令和８（2026）年５月　女性研究活動委員会が推薦した３人のうち、赤根智子氏への授賞を学長が決定。

【お問い合わせ先】
学術・社会連携室　学術・社会連携支援部
研究推進グループ　　上代（じょうだい）
TEL:082-424-5289　　FAX:082-424-6189
E-mail：ura-women@office.hiroshima-u.ac.jp

第13回 広島大学女性活躍促進賞
「メタセコイア賞」
授賞式・記念講演会

令和8年12月23日（水）15:30～16:30

（授賞式/15:30～ 講演会/15:40～）

広島大学では、女性自ら先導し、あるいは女性の活躍の場を広げることによって、社会全体の活力向上に貢献した個人・団体を顕彰するため、平成25年度から表彰を行っています。



国際刑事裁判所提供

受賞者　国際刑事裁判所（ICC）所長
赤根　智子 氏

<受賞者紹介>

赤根智子氏は、日本の検察官として卓越したキャリアを築かれ、国際司法の分野においても多大な貢献を果たしてこられました。現在は国際刑事裁判所（ICC）の所長として、戦争犯罪をはじめとする重大な犯罪への対処を含め、国際社会における「法の支配」を維持・強化するために極めて重要な役割を担われています。

※オンラインでのご登壇となります。

◇ 受賞者略歴 ◇

1980年	東京大学法学部卒業
1982年	検事任官 ： 横浜、津、名古屋、仙台、東京地方検察庁検事を歴任
2000年	札幌地方検察庁公判部長
2002年	法務総合研究所教官 （国連アジア極東犯罪防止研修所次長）
2005年	法科大学院派遣 （名古屋大学・中京大学）
2008年	東京高等検察庁検事
2009年	法務総合研究所国際協力部長
2010年	最高検察庁検事
2010年	函館地方検察庁検事正
2013年	法務総合研究所国際連合研修協力部長 （国連アジア極東犯罪防止研修所長）
2014年	法務総合研究所長
2016年	最高検察庁検事
	外務省参与、国際司法協力担当大使
2018年	国際刑事裁判所　判事
2024年	国際刑事裁判所　所長・判事

オンラインにて開催

要事前申込

※ 定員になり次第締め切り

申込期限：令和8年12月16日（水）

お申込はこちらから ▶

https://forms.cloud.microsoft/r/cCisJh2vSC

お問い合わせ先

広島大学学術・社会連携支援部研究推進グループ
E-mail:ura-women@office.hiroshima-u.ac.jp

これまでの受賞者

第1回	平成25年度 （2013）	公益財団法人広島男女共同参画財団（エソール広島） 理事長　長尾　ひろみ　氏
第2回	平成26年度 （2014）	イクメン企業同盟ヒロシマ （代表：湯崎　英彦　広島県知事）
第3回	平成27年度 （2015）	広島ガス・アルペンスノーボード選手 竹内　智香　氏
第4回	平成28年度 （2016）	独立行政法人　酒類総合研究所 理事長　後藤　奈美　氏
第5回	平成29年度 （2017）	福山大学 学長　松田　文子　氏
第6回	平成30年度 （2018）	俳人・エッセイスト 夏井　いつき　氏
第7回	令和元年度 （2019）	キャスター 国谷　裕子　氏
第8回	令和2年度 （2020）	株式会社今田酒造本店・代表取締役・杜氏 今田　美穂　氏
第9回	令和3年度 （2021）	オペラ歌手・広島大学客員教授 中丸　三千繪　氏
第10回	令和4年度 （2022）	株式会社メンテックワールド代表取締役 小松　節子　氏
第11回	令和5年度 （2023）	東北大学名誉教授 原山　優子　氏
第12回	令和6年度 （2024）	被爆体験証言者・平和のためのヒロシマ通訳者グループ代表 小倉　桂子　氏

広島大学

第 197 回 学長定例記者会見　発表事項 3

令和８年 11 月 25 日

国立６大学が連携し、医学生の海外臨床実習の機会を拡大
―海外の実習先を共有する新たな仕組みを構築、2027 年度から開始 ―

広島大学を主幹校とする国立大学６校[*1]の医学部は、医学生の海外臨床実習の機会を広げるため、「西日本海外臨床実習コンソーシアム（West Japan Overseas Clinical Clerkship Consortium：WJ-OCCC）」を設立しました。

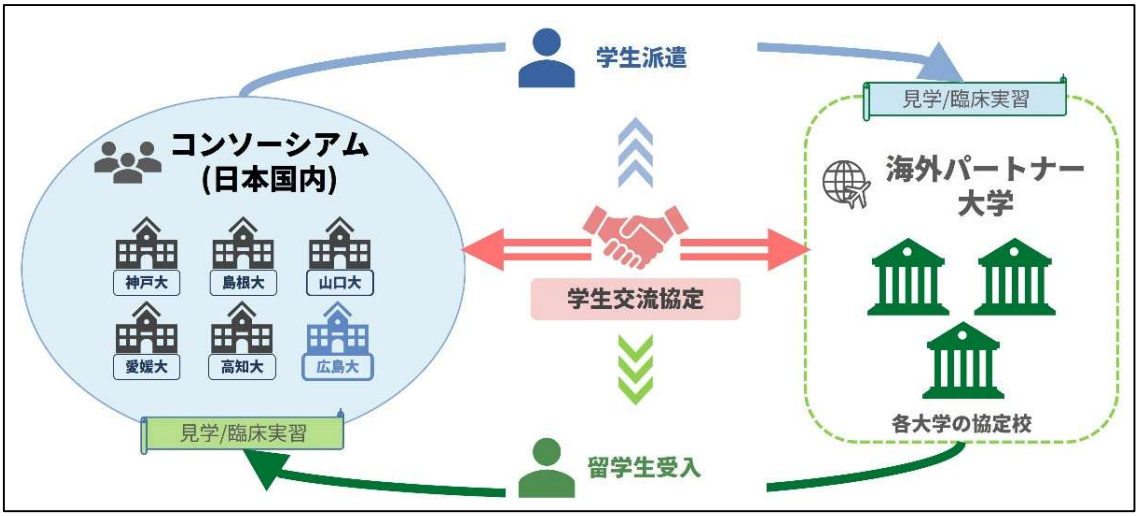
これまで、医学生が海外で臨床実習を行う場合、原則として所属大学が協定を締結している海外大学などに実習先が限られていました。
今回の連携により、６大学がそれぞれ持つ海外大学とのネットワークを共有し、所属大学が直接協定を結んでいない海外大学においても臨床実習に参加できる新たな仕組みを構築しました。

令和９（2027）年度からは、台湾、タイ、インドネシアの３大学との間で海外パートナー大学[*2]との「海外臨床実習交流プログラム」を開始し、医学生の派遣と海外からの学生の受入れを進め、国際的な視野と実践力を備えた高度医療人材の育成を目指します。

[*1]「コンソーシアム加盟大学」
神戸大学医学部、島根大学医学部、山口大学医学部、愛媛大学医学部、高知大学医学部、広島大学医学部

[*2]「海外パートナー大学」（令和８（2026）年 10 月現在）
台湾・マッカイ医科大学　医学部
タイ・コンケン大学　医学部
インドネシア・アイルランガ大学　医学部

海外臨床実習交流プログラム・交流の一例



【背景】

令和６（2024）年、文部科学省「高度医療人材養成拠点形成事業（タイプA）」に、広島大学の「平和科学を基盤とする臨床基礎融合を目指した人材養成イニシアティブ ～SPARK! Plan for MED～」が採択されました。本コンソーシアムは、その取り組みの一環として、医学生の海外臨床実習機会の拡充を目的に、本学と協力機関大学である神戸大学、島根大学、山口大学、愛媛大学、高知大学との連携により設立したものです。

近年、医療の国際化が進展する中、多様な価値観や文化的背景を理解しながら医療を実践できる人材の育成が求められています。一方で、海外臨床実習の実施には海外大学との協定締結や受入体制整備が必要であり、各大学が単独で実習先を拡充するには限界があります。

そこで本コンソーシアムでは、加盟大学が有する国際連携ネットワークを共有し、限られた教育資源を有効活用することで、学生により多くの海外臨床実習の機会を提供する仕組みを構築しました。これにより、学生は所属大学が直接協定を締結していない海外大学においても実習先を選択できるようになり、多様な医療制度や文化的背景のもとで学ぶ機会が拡大します。

【今後の展開】

令和９（2027）年度から「海外臨床実習交流プログラム」を開始し、加盟大学の医学生を海外パートナー大学へ派遣するとともに、海外からの学生の受入れを進めます。

今後は海外パートナー大学の拡充を進め、学生がより多様な地域・医療環境で学べる機会を充実させる予定です。大学間の連携強化や教育資源の共有、国際的な人的ネットワークの形成を通じて、幅広く活躍できるグローバル医療人材の育成を推進していきます。

■参考

項　目	内　容
海外臨床実習の具体的な内容	派遣先大学の実習計画に基づく外来診療や病棟での診察への参加、指導医の指示のもとでの医行為など
海外臨床実習の期間	原則 4～8 週間程度（派遣元大学と派遣先大学との調整により決定）
海外臨床実習の必要性・教育的効果	異なる医療制度や文化的背景に触れることによる、国際的な視野、異文化理解力、多様性への対応力及び国際的なコミュニケーション能力の向上。また、日本の医療を客観的に捉える視点や主体的に学ぶ姿勢の涵養
他地域における同様の取り組みの有無	把握している限り、同様の取り組みは確認できず

【お問い合わせ先】

広島大学霞地区運営支援部　国際室
（西日本海外臨床実習コンソーシアム事務局）
E-mail: kasumi-kokusai@office.hiroshima-u.ac.jp
TEL:082-257-1705　　FAX:082-257-5278

＜参考：広島大学医学部医学科における学生の海外派遣、受入れ実績（過去３年間）＞

番号	派　遣　先	国　名	派遣年次	単位取得	現行の派遣枠（人数）	派遣実績(※)			受入実績		
						R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
1	ペンシルベニア大学	米　国	5年及び6年	可	1	1	0	0		1	1
2	ハノーファー医科大学	ドイツ	5年及び6年	可	2	2	2	2		2	2
3	グラーツ医科大学	オーストリア	5年及び6年	可	3	3	3	3	3	2	2
4	デュイスブルクエッセン大学	ドイツ	5年及び6年	可	2	3	3	3			1
5	ルール大学ボーフム	ドイツ	5年及び6年	可	3	募集なし	3	募集なし			
6	国立台湾大学	台　湾	5年及び6年	可	2	2	2	2	1		
7	台北医学大学	台　湾	5年及び6年	可	2	2	2	2			2
8	マッカイ医科大学	台　湾	5年及び6年	可	2	0	2	2		2	2
9	アイルランガ大学医学部	インドネシア	5年及び6年	可	1	1	1	2			2
10	健康科学大学（UHS）	カンボジア	5年及び6年	可	2（予定）	0	1	2		4	2
11	IPPNWドイツ支部	ドイツ	5年及び6年	可	1	1	1	1			2
					計	15	20	19	4	11	16

※　派遣実績（同学年内で集計、応募した年度に記載）

広島大学

第 197 回 学長定例記者会見　お知らせ事項 1

令和８年 11 月 25 日

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」の取組に関する報告

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、一昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」に採択されました。

本学は、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線（UV）領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムを形成し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

地域中核拠点の形成に向けた本学のさまざまな取組みについて、最新情報をお知らせします。

(1)　半導体・ナノテク分野の国際展示会「SEMICON Japan 2026」および「nano tech 2026」に出展します

広島大学は、令和８（2026）年 12 月に東京ビッグサイトで開催される先端技術分野の２大国際展示会「SEMICON Japan 2026」および「nano tech 2026」に出展します。

今回の出展では、放射光科学研究所（HiSOR）による最先端の計測・分析技術や、持続可能性に寄与するキラルノット超物質国際研究所（WPI-SKCM²）の革新的な新材料創出など、本学が誇る研究シーズを広く発信し、産業界との共同研究創出や技術連携の加速を目指します。

最先端技術が集まる展示会場およびセミナー会場にて、ぜひ広島大学ブースへお立ち寄りください。

1. SEMICON Japan 2026 出展概要

- **会期**：令和８（2026）年 12 月９日(水) ～ 11 日(金)
- **会場**：東京ビッグサイト
- URL: https://www.semiconjapan.org/jp
- **ブース位置**：小間番号 W1157（1 小間）

- **主な発信内容**：半導体分野・産業界へ向けた HiSOR の先端計測・分析技術や最新の研究シーズを紹介し、材料開発やデバイス評価に関する共同研究創出を図ります。

2. nano tech 2026
（第 25 回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議）出展概要

- **会期**：令和８（2026）年 12 月 16 日(水) ～ 18 日(金)
- **会場**：東京ビッグサイト 西・南展示棟
- **ブース位置**：小間番号 3S-A07 （3 小間）
- URL：https://www.nanotechexpo.jp/

- **主な発信内容**： HiSOR および WPI-SKCM²の研究成果・研究シーズを展示し、先端ナノテク分野における共同研究の創出を図るとともに、広島大学 J-PEAKS の取組を広く発信します。。

- **出展者セミナー（60 分）**：
  - **日時**：令和８（2026）年 12 月 17 日(木) 15:30 ～ 16:30

  - **講演プログラム**：

1. **「見えないを見えるにする放射光解析 ～HiSOR の研究基盤と活用事例の紹介～」**

登壇者：角田 一樹 特任准教授（放射光科学研究所：HiSOR）

2. **「分子の鎖でつくる多孔性材料」**

登壇者：佐藤 弘志 特任教授（持続可能性に寄与するキラルノット超物質国際研究所：WPI-SKCM²）

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS） とは？

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的とした事業。Program for Forming Japan’s Peak Research Universities の通称。

広島大学は 2023 年度に採択され、2028 年度までの 6 年間で総額 55 億円の財政支援が予定されています（体系的番号：JPJS00420230011）。

【お問い合わせ先】
学術・社会連携室
未来共創科学研究本部
研究戦略部 研究戦略推進部門 宮良
TEL: 070-6645-2583
Mail：ura@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学

第 197 回 学長定例記者会見　お知らせ事項 2

令和８年１１月２５日

「2026 年ノーベル賞解説講演会」を開催します（12/6 開催）

今年のノーベル生理学・医学賞は、光を使って神経細胞などの働きを自在に操作する「オプトジェネティクス（光遺伝学）」と呼ばれる技術の基礎を築いたアメリカとドイツの大学の研究者３人に授与されました。

ノーベル物理学賞には、南極にある観測施設「IceCube」で、宇宙のかなたから届く素粒子ニュートリノのうち極めて高いエネルギーを持つものの観測に成功したとして、アメリカの大学の研究者が選ばれました。

また、ノーベル化学賞は、自然界に存在するアミノ酸などの構造の起源の謎を明らかにし、人工的に再現する方法を発見したとして、広島県出身の東京理科大学名誉教授である硲合憲三氏とフランスの大学の研究者２人が受賞しました。

これらを受けて当センターでは、一般の方、学生、教職員を対象として、2026 年ノーベル生理学・医学賞、ノーベル物理学賞、ノーベル化学賞についての解説講演会を開催いたします。是非ご参加ください。

記

【日時】令和８（2026）年 12 月６日（日）13:00～16:30（開場 12:30）

【場所】広島大学東千田キャンパス S207 講義室
（広島市中区東千田町 1-1-89）
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

【講演者・タイトル】
13:00～　杉　拓磨（広島大学大学院統合生命科学研究科・特定教授）
「オプトジェネティクス（光遺伝学）について」
14:00～　須田　祐介（広島大学大学院先進理工系科学研究科・准教授）
「宇宙を駆ける幽霊粒子ニュートリノ」
15:00～　井上　克也（広島大学大学院先進理工系科学研究科・教授／持続可能性に寄与するキラルノット超物質国際研究所・副研究所長）
「今年のノーベル化学賞は？硲合反応とは？その意義と今後の展開について」
16:00～　質問コーナー

【参加費】無料

【お申し込み】不要

【お問い合わせ先】

広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター
E-mail：ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp
Tel：082-424-4384

広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター主催

2026年

ノーベル賞 解説講演会

✓ 事前申込不要
✓ 参加費無料
どなたでもご参加ください

日時

12月6日（日）
13:00-16:30（開場12:30）

場所

広島大学東千田キャンパス S207講義室

13:00- 生理学・医学賞 オプトジェネティクス（光遺伝学）について

杉　拓磨
大学院統合生命科学研究科
特定教授



14:00- 物理学賞 宇宙を駆ける幽霊粒子ニュートリノ

須田 祐介
大学院先進理工系科学研究科
准教授



15:00- 化学賞 今年のノーベル化学賞は？ 硤合反応とは？ その意義と今後の展開について

井上 克也
大学院先進理工系科学研究科 教授
持続可能性に寄与するキラルノット超物質
国際研究所 副研究所長



講演終了後 質問コーナー

■ アクセス
バス：JR広島駅→南口バス乗り場 広島バス（50号東西線）アルパーク方面行き→「日赤病院前」下車 徒歩2分
電車：JR広島駅→市内電車乗り場 広電1番広島港行き→「日赤病院前」下車 徒歩2分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

■ お問い合わせ
広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター
ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp
082-424-4384

広島大学

第 197 回 学長定例記者会見　お知らせ事項 3

令和８年 11 月 25 日

人類学の２つの視点から「人間と集団」を考える
～広島大学附属中・高等学校と日本学術会議がサイエンス・カフェを開催～

広島大学附属中・高等学校と日本学術会議は、令和８（2026）年 12 月 14 日（月）、広島大学 WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアムの取り組みとして、サイエンス・カフェ「人類学の２つの視点から考える人間と集団」を開催します。

本イベントでは、自然人類学と文化人類学という２つの異なる視点から、人間の歴史や人間集団のあり方について考えます。

講師には、約３万年前の日本列島への渡航を実験航海によって検証した東京大学総合研究博物館の海部陽介教授と、人種・民族や差別の問題を研究する関西外国語大学の竹沢泰子教授を迎えます。

高校生や教職員に加え、一般市民の皆さまにもオンラインでご参加いただけます。

【開催概要】

日時：令和８（2026）年 12 月 14 日（月）13:30～15:15
会場：広島大学附属中・高等学校 講堂／Zoom（オンライン）
対象：WWL コンソーシアム拠点校・連携校の高校生及び教職員、一般市民の皆さま（どなたでも参加可能。）
※広島大学附属高校講堂からオンライン配信しますので、一般市民の皆さまは Zoom での参加（先着 300 人）のみとなります。
講演内容：

①「海を越えた最初の日本列島人～実験航海で探った３万年前の挑戦～」
講師：海部 陽介 氏（東京大学総合研究博物館 教授）
自然人類学の視点から、約３万年前に日本列島へ渡った人々の挑戦について、実験航海による研究を紹介します。

②「『人種』『民族』ってなに？～外国人ヘイトの時代に考えよう～」
講師：竹沢 泰子 氏（関西外国語大学国際文化研究所長・教授、京都大学名誉教授）
文化人類学の視点から、「人種」や「民族」という概念について、現代社会の差別の問題とともに考えます。

主催：広島大学附属中・高等学校、日本学術会議
共催：科学研究費（挑戦）「人間の『ちがい』と差別に関する人類学的研究」

（研究代表：竹沢泰子、課題番号 24K21178）

【参加申込】

申込締切：令和 8（2026）年 12 月 7 日（月）15:00

申込方法：広島大学 WWL コンソーシアムのホームページまたは別添チラシの QR コードからお申し込みください。

広島大学 WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアムとは

広島大学附属中・高等学校を含む国内外の学校や大学等が連携し、高校生の国際的な視野や課題解決能力を育むことを目指す教育ネットワーク。講演会や探究活動などを通じて、高校生が多様な価値観に触れ、社会の課題について考える機会を提供している。

【お問い合わせ先】

広島大学 WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム事務局
E-mail：wwl2022ysh@hiroshima-u.ac.jp
https://wwl2022ysh.hiroshima-u.ac.jp/events/

広島大学WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム
日本学術会議サイエンス・カフェ

人類学の２つの視点から考える人間と集団

海を越えた最初の日本列島人～実験航海で探った３万年前の挑戦～



自然人類学
東京大学総合研究博物館　教授
海部 陽介 先生

【講演者経歴】
東京大学大学院理学系研究科博士課程（1994～1995）
国立科学博物館人類研究部（2015～2020）
国立科学博物館「3万年前の航海 徹底再現プロジェクト」代表（2016～2020）
日本人類学会会長（2024～）
海洋立国推進功労者表彰・日本人類学会賞等受賞
日本学術会議連携会員（2023～）

【主たる著書】
『サピエンス日本上陸』（講談社、2020年）
『人間らしさとは何か』（河出書房新社、2022年）

「人種」「民族」ってなに？～外国人ヘイトの時代に考えよう～



文化人類学
関西外国語大学国際文化研究所長・教授
京都大学名誉教授
竹沢 泰子 先生

【講演者経歴】
京都大学理事補・総長補佐（2008-2014）
日本移民学会 会長（2022-2024）
カリフォルニア大学ロサンジェルス校 客員教授（2023-2024）
日本民族学会（現・日本文化人類学会）澁澤賞受賞
日本学術会議会員（2023～）

【主たる著書】
『アメリカの人種主義～カテゴリー/アイデンティティの形成と転換』（名古屋大学出版会、2023年）
『日系アメリカ人のエスニシティ～強制収容と補償運動による変遷』（東京大学出版会、1994年、新装版2017年）

主催：広島大学附属中・高等学校, 日本学術会議
共催：科学研究費（挑戦）「人間の「ちがい」と差別に関する人類学的研究」（研究代表：竹沢泰子　24K21178）

【対象】
WWLコンソーシアム拠点校・連携校の高校生と教職員の皆様
一般市民の皆様（どなたでも）

【場所】
広島大学附属中・高等学校 講堂 / Zoom（オンライン）
※広島大学附属高校講堂からオンライン配信します。
一般市民の皆様はZoomでの参加（先着300名）のみとなります。

右のQRコード、または広島大学WWLコンソーシアムのHPよりお申し込みください。

【締切】12月7日（月）15:00まで

○お問い合わせ（下記のメールアドレスにお問い合わせください）
広島大学WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム事務局
wwl2022ysh@hiroshima-u.ac.jp
〒739-8524 広島県東広島市鏡山1丁目1番1号　広島大学教育学部内

12/14 Mon.
13:30 ～ 15:15